

資料2 延岡裁判の資料 (収録にあたって個人情報のため実名・職業・特定可能な固有名については表記を避けた)

表 示 順 号	原 告 番 号	氏 名	基 地 局 ま た の 距 離 (E)	備 考	年 齢	症 状 発 生 時 期	耳 鳴 り	肩 凝 り	不 眠	頭 痛	め ま い	鼻 血	医 師 の 診 断	症 状 の 詳 細 (個人名などの個人情報を削除した)	症 状 消 退
1	2	女性	44	基地局が3階とほぼ同じ高さ	57	H18・11・18	○	○	○	○			両耳鳴症 (甲21の2) 電磁波による可能性が高い (甲20の2)	<ul style="list-style-type: none"> ・H18.11.18夜、大潮御橋の北詰付近で、耳のそばでキーンという音が聞こえた。3、4日後も同じ場所でキーンと音が聞こえた。 ・その数日後からは、シーン、シーンという虫の鳴くような耳鳴りで寝られなくなった。 ・H18.11 終わりには、昼夜を通じた耳鳴りや吐き気に加え耳の下のリンパ付近が痛み、夜中には胸が締め付けられて目が覚めるようになった。 ・H18.12 中～下旬にかけて、耳鳴りは飛行機の発着前のような「キーン」という金属音に変わり、耳を突き刺すような痛みが走った。 ・H19.1 初旬から後頭部が熱を持って締め付けられる痛みがあり、一層眠れない。 ・H20.1.4 前日から歯ぐきの辺り、耳の下の辺り、リンパの辺りが痛くて気分が悪い。頭を押さえつけられるような感じ、きりで突くようなキーンという強い痛み、圧迫感があった。 ・その後、昼夜を通じて、強弱をつけての耳鳴り、体中が揺さぶられ続ける感覚、頭の締め付けられる感覚に悩まされて、体も心も壊れそうな毎日だった。 ・頭鳴りは、頭の中をうじ虫が這い回っているような感じ。体中が強弱をつけて揺さぶられる。頭はぐるぐる回り、耳鳴りは強くなったり弱くなったり、お腹は煮えるような押さえつけられるような感じ、足はしびれるような感じ。映画の「もののけ姫」のオコトメジにうじ虫みたいなものが全身に食いつくシーンがあるが、そのような感じで全身が何かに押しやられる、差し込まれるような気分の悪さを感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H18.12.9 に行われた婦人会の忘年会の際、自宅から歩いて10分程度離れた●●公民館に行くとき耳鳴りが少し静まったが、忘年会が終わって帰宅するとまた耳鳴りが始まった。 ・H18.12 ころ、自宅を離れて宮崎市のシーガイアに泊まりに行くとき耳鳴りが軽くなる。 ・H19.1.1、日南市にある実家へ里帰りのために自動車を運転していた際、夫妻そろって同じ場所で耳鳴りが強くなった。周囲を見ると携帯基地局があったので、基地局に体が反応していることを確信した。 ・H19.2 中旬以降、携帯基地局に近づくと目が乾燥するような感じになった。 ・木城町、諸塚温泉などの携帯電話が通話圏外になる場所に行くとき、耳鳴りが軽減するだけでなく、肩凝りや内臓が煮えるような感じが無くなり、ものすごく体が軽くなった感じがした。 ・H19.2.27 に本件基地局の電磁波の放出を止めた時、体がスッと軽くなり、耳鳴りも弱くなった。この感覚は、同人が沖田ダムへ行った時も同様に起こる。 ・H19.4 以降、携帯電話が通話圏外になる黒仁田の民家で寝ると、体がリラックスして入眠剤を飲まなくても眠ることができる。
													<ul style="list-style-type: none"> ・肩こりや、電子レンジで加熱しているお餅のふくらみ方のような内臓が煮える感じにも悩まされている。 ・H19.2 頃からは、太陽光線が異常に眩しく感じるようになった。 ・異常な肩こりや、脳みそが振り回されるような感覚、足がジリジリ痺れて帯電しているような感じ、仕事でも思考が寸断されるという症状がある。 ・現在も、耳鳴りはある。頭鳴りは、ずっと鳴りっぱなしである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話が圏外になる延岡市内の沖田ダムへ行くと、症状が和らぐので、たびたび休憩のために出かけた。 	
2	1	男性	44	基地局が3階とほぼ同じ高さ	61	H18・11・28	○	○	○				両耳鳴症 (甲21の1) 電磁波による可能性が高い (甲20の1)	<ul style="list-style-type: none"> ・H18.11.28、就寝中に耳の奥で川の流れのような音がして、顔の表面がビリビリするような現象が出始めた。 ・H18.12 終わりころからは、「シーン」、「キーン」という耳鳴りが大きくなり、頭鳴り、異様な胸の圧迫感、動悸等で眠れない状態が続くようになった。 ・H18 年末、3日間のほとんどを自宅で過ごした頃から、たまらなく強い耳鳴りを感じるようになった。 ・現在も、頭の中でモーターが回るような耳鳴りをいつも感じ、時折、頭の前上部付近でチクリチクリと痛みを感じる。 ・週の2～3日は、朝5～6時ごろ、頭の中がシーンとなるような音を感じて目が覚める。 ・異常な首から肩にかけての凝りに悩まされており、歩いている時に左に左に引っ張られるような感じもある。 ・時折、胸に圧迫感を感じて動悸を激しく感じる時がある。 ・裁判所の法廷でも、シャーッという音が聞こえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H19.1.2、本件基地局から約10 km離れた岡元の実家に行くとき、自宅にいた時よりも耳鳴りが和らいだ。 ・H19.1.1、原告●●の実家へ里帰りのために木城町付近を自動車で行く時、車の進行に従って、夫妻同時に同じ場所で耳鳴りが強くなったり弱くなったりした。耳鳴りが強くなった時に周囲を見ると携帯基地局があったので、基地局に体が反応していることを確信した。 ・携帯電話が圏外になる延岡市内の沖田ダムへ行くと、症状が和らぐので、たびたび休憩のために出かけた。 ・黒仁田、諸塚町の曙温泉、木城町の内之又等、携帯電話が通話圏外になる地域に行くとき、肩から荷物を下ろすような感覚を覚えたり、耳鳴りも痛みを伴うようなものではなくなり、音も小さくなる。 ・H19.2.27 に本件基地局の電磁波を停波して約40分から1時間ほど経過した途中から、何か軽いな、という感じを受けた。

表番号	原世番号	氏名	基地局までの距離(m)	備考	年齢	症状発生時期	耳鳴り	肩凝り	不眠	頭痛	めまい	鼻血	医師の診断	症状の詳細 (個人名などの個人情報を削除した)	症状消退
3	9	男性	89	発生当時小学生の子供	13	H 18・11ころ			○	○		○	ストレス性多血症	<ul style="list-style-type: none"> ・ H 18.11 ころから、小学校から帰宅すると後頭部をガンガン叩かれるように痛くなり、体全体がきつくなりたまらなくなって横になるような状況であった。 ・ その後も、毎日のように頭痛がし、頭痛薬が欲しいと自ら訴える日もあった。 ・ H 19.4 ころからは、ツーンと垂れてくるような鼻血が毎日のように出て、朝起きると顔と布団が血だらけになっているようなこともあった。 ・ H 21.4 に中学校に入学してからは、帰宅時間が遅くなり、頭痛は少なくなっているが、鼻血はときどき出ており、H 22.5 にも出た。 ・ H 22.2 頃、非常に体調が悪くなり、夕食時に頭痛を訴えた。 ・ H 21.12 に行われた中学校の血液検査で、ストレス性多血症と診断された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅から北東 800 m くらいにある小学校では、頭痛や体のだるさはなかった。 ・ 自宅から 100 m くらい、基地局から 50 m くらいのところにあるくまんの教室では、頭痛が生じた。 ・ 中学生になり部活で帰宅が遅くなったら、帰宅して頭痛が生じることもだんだん少なくなってきた。
4	8	女性	89	発生当時小学生の子供	45	H 18 秋～冬	○	○		○			顎関節症	<ul style="list-style-type: none"> ・ H 18 秋から冬にかけて、後頭部に集中的に「ズキーン」、「キーン」とする痛み、「ピー」、「ガー」という耳鳴り、目のかすみ、肩こり、体のだるさが生じた。 ・ H 20.8 ころ、高熱が出て、ヘルペスの症状も出た。 ・ 現在でも、肩こりや耳鳴りで熟睡できない状態が続き、毎朝 4 時過ぎには目が覚めてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ●●が頭痛やだるさを訴える時と、●●が頭痛を訴える時は、同じであった。 ・ H 19.7 に交通事故に遭い約 1 か月間自宅を離れて入院したが、入院中は耳鳴りや肩こりを感じなくなっていた。しかし、退院して帰宅した途端、また耳鳴りや肩凝りが始まった。

5	19	女性	62		55	H 18・11	○							<ul style="list-style-type: none"> ・ H 18.11 突然、両耳の後ろの上の方から「キーン」という金属音が聞こえ始め、目の周りが痙攣するようになった。 ・ 耳鳴りは途絶えることなく続き、熟睡できなくなった。 ・ H 19.3 以降は、体調が不調になるとヘルペスが出るようになり、H 20 夏ころからは、鼻づまり、顎関節症も現れた。 ・ 疲れがたまりやすくなり、体力が落ちた。 	
6	20	女性	62		84	H 18・11～12	○	○						<ul style="list-style-type: none"> ・ H 18.11～12、耳鳴り、肩こりなどを訴えるようになった。 ・ H 20 以降は、物忘れがひどくなった。 ・ H 21.1 に認知症と診断されて以降も、その症状の進行が早まっている。 	
7	訴外	女性	70		89	H 21・2	○							<ul style="list-style-type: none"> ・ H 21.2、自宅と同居するようになってすぐ、頭が割れるほどの激しい耳鳴りを訴えた。 	
8	17	女性	70		70	H 18・11	○	○						<ul style="list-style-type: none"> ・ H 18.11 くらい、急に肩凝りがひどくなった。 ・ H 18.12、「ジー」と蟬が鳴くような耳鳴りがするようになった。 ・ H 20 ころからは、足がむくんで体が非常に疲れるという症状が出るようになった。 	
9	18	女性	54		60	H 19・1	○	○						<ul style="list-style-type: none"> ・ H 19.1、「ズーンズーン」という耳鳴りがするようになった。心臓の鼓動に合わせて「サツ、サツ」という音も聞こえるようになった。 ・ 現在も、左耳に薄い膜が張っているような違和感がある。 ・ H 19.6 ころから首の後ろの首筋が張るような凝りの症状が続いており、疲れやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件基地局の周辺住民で、耳鳴り、頭痛、鼻血、ヘルペスの症状を訴える人が増えている。

加害者 の属性	氏名	性別	年齢	基礎 疾患	備考	年齢	症状 発生時期	耳鳴り	肩凝り	不眠	頭痛	めまい	鼻血	医師の 診断	症状の詳細 (個人名などの個人情報を削除した)	症状消退
10	24	女性	70			62	H18・11末	○	○			○			・ H 18.11 末ころ、突然「シャーッ」という、耳の中に水が入っているような音が聞こえ出した。 ・ その後も週に平均して4回くらい、耳鳴りが聞こえるようになった。 ・ H 22.1 には目まいも起きた。 ・ 現在、耳鳴りの回数が以前よりも増え、なお健康被害が継続しており、地域の様々な活動に参加できなくなっている。	・ H 22.4 に現在の住所に引っ越してからは、耳鳴りがしなくなった。
11	10	男性	40			40	H18・12	○	○		○	○			・ H 18.12 夜、「シーッ」という耳鳴りが聞こえ始めた。 ・ 以降毎日、一日中、耳鳴りの音に悩まされるようになった。 ・ 同じところから首筋から背中にかけての凝り、頭痛、ムカムカする腹部の違和感が生じた。 ・ H 19 ころからは、倒れそうになるくらいの目まいが生じるようになった。 ・ H 20 ころから、鼻の粘膜がヌルヌル、ドロドロした感じがする異常が生じた。 ・ めまいは、ひどい時は1日10回くらいあり、●●の立ち仕事に支障をきたしている。	
12	11	女性	40			40	H18末 H19・1	○	○	○	○			慢性 貧血(甲49) 鉄欠乏 性甲状腺炎	・ H 18 末～H 19.1、神経がビリビリ張りつめるような感じの不眠、頭痛(以前の偏頭痛とは違う、起き上がることができないようなガンガンするような痛み。こめかみの辺りや眼の奥の部分)「ヴィー」という耳鳴りが聞こえ圧迫感がある等の症状が出た。 ・ 現在も、加えて、肩の痛み(激痛で夜眠れず、涙が出る)、めまい(酷い冷や汗が出る)、息苦しきがある。	
13	25	女性	160			71	H18末								・ H 18 の本件基地局設置後、鼻水が止まらない、手足のしびれ、痙攣などが生じるようになり、現在も続いている。	

14	訴外 二人		160			11と7	H22・2								・ H 22.2 ころ、11 歳の孫が突然鼻血を出した。 ・ 別の日には7歳の孫も鼻血を出した。	
15	3	男性	18			51	H19・1 終わりころ	○	○	○	○	○		20 両耳 鳴症 (甲 21の 3)	・ H 19.1 終わり頃の夜、耳の中で「キーン」という金属音が響き始めた。 ・ その後、耳鳴りは悪化し、月日が経つごとにだんだん強くなった。「シーン」、「シャー」という音がシャワーを浴びているような感じ、夏の森の中の蟬が一斉に鳴いている音が押し寄せてきたり、「キーン」という鋭い音がして耳の奥まで突き刺さるような痛みを感じるようになった。 ・ 肩凝り、後頭部の異常なほりや鈍痛も生じ、イライラするようになった。 ・ 現在もこれらの症状の変わりはなく、会社2階の会議室に長時間いると、耳の奥に痛みが生じ、首から肩にかけて異常に張り、気分が悪くなり、耐えがたいまでに悪化する。 ・ H 23.7.6 午後11時ころ、床に就いた時、「シャーッ」という耳鳴りの音が聞こえ、翌朝5時半に目が覚めた時も「シャーッ」という音が強く感じられた。会社の事務所でも耳鳴りは継続し、原告本人尋問が行われている最中も「シャー」という音が聞こえる。	・ 耳鳴りの症状が悪化するのには事務所ですら長く仕事をしたときであった。 ・ 本件基地局により近い2階の会議室に入ると症状が悪化した。 ・ 連休や出張で会社を一定期間離れると、症状が軽くなる。 ・ 耳鳴りの症状は、事務所にいる時が一番強く、休みが続いて自宅にいたり、出張や山登りをするときは緩和される。 ・ 耳鳴りがひどくなったので近くを見たらそこにはいつも携帯電話基地局があるということを感じた経験がある。
16	4	女性	18			53	H20・2		○						・ H 20.2、疲れやすくなった。 ・ H 22.1 には、ひどい肩凝り、めまい、吐き気が生じた。	
17	5	男性	18			33	H21・2	○	○		○				・ H 21.2 に就職して約3週間後のH21.2下旬頃の夜、耳の奥が「キーン」と鳴り始めた。 ・ H 21.4 に入ってから、耳鳴りだけでなく肩こりや激しい頭痛に襲われるようになった。 ・ H 22.3 ころからはさらに悪化し、耳の付け根の奥にしゃがみ込むほどの激痛が生じるようになり、痛みから両肩にしびれがくることもあり、現在も継続している。	・ 症状が現れた最初のうちは、家に帰ると、耳鳴り、肩こり、頭痛は軽くなっていた。 ・ H 22.10、●●の保険代理店を退職したが、同社から離れて、耳鳴りも軽くなり、肩こりは全くなり、快調である。